

発行 観 点	発行者						
	2・東書	17・教出	38・光村	116・日文	224・学研	232・あか図	233・日科
<b>取扱内容</b>  学習指導要領の 総則及び各教 科の目標、内容 等	○ 生命の尊厳における目標を達成するための学習活動（第1学年）						
	・骨髄バンクの運動などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動	・生き物の世話などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動	・動物の殺処分などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動	・阪神・淡路大震災などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動	・進行性筋萎縮症などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動	・震災時の警察官の手記などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動	・ペットの殺処分などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重することの大切さについて考える活動
	○ 自然における目標を達成するための学習活動（第2学年）						
	・わたり鳥の環境保護などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動	・グリーンコンシューマー十原則などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動	・富士山のガイドの仕事などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動	・緑化事業などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動	・リンゴの自然栽培などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動	・地球誕生からの歴史などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動	・富士山の環境問題などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動
	○ 伝統と文化における目標を達成するための学習活動（第3学年）						
	・隅田川の花火と灯ろう流しなどを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動	・博多祇園山笠などを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動	・博多の伝統的な祭り「放生会」などを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動	・江戸切子などを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動	・青森ねぶた祭などを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動	・姫路城の修復工事などを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動	・農山村の過疎化などを基に、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さについて考える活動
	○ 情報化への対応における目標を達成するための学習活動（第1学年）						
	・SNSへの悪口の投稿を扱い、信頼できる友達になるためには、どのようなことが大切なのかを考える活動	・ソーシャルメディアのルールとマナーを扱い、誰もが安心して気持ちよく活用するためには、どのようなことが大切なのかを考える活動	・SNSでのやり取りを扱い、相手を理解し、わかり合うためには、どのようなことが大切なのかを考える活動	・SNSの投稿を扱い、自分が法を守っていくためには、どのようなことが大切なのかを考える活動	・ネットでのうわさを扱い、友達に対して偏見をもたないようにするためには、どのようなことが大切なのかを考える活動	・動画サイトへのコメントを扱い、誹謗中傷で相手を傷つけないためには、どのようなことが大切なのかを考える活動	・AIが作ったフェイク写真を扱い、情報に振り回されないためには、どのようなことが大切なのかを考える活動
	○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習活動（第2学年）						
	・「魔法使いの少年－いつかの自分」において、	・「お菓子、どうする？」において、心情メタ	・「『尊重』の本質を探ろう」において、資料を	・「五月の風－ミカー」において、話し合いの例を	・「コスモスR計画」において、マンガを基に、	・「いつでも・どこでも・SNS」において、教材の場	・「二通の手紙」において、登場人物である元さ

	ポスターを基に、誰かの感謝の思いやそれを示す行動に、温かい気持ちになった経験について話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動	一を基に、みんなが納得できるルールを作るときに、大切にしたいことについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動	基に、一人一人が尊重される社会とは、どのような社会かについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動	基に、信頼される友達になるために大切なことについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動	地球を美しく再生するために、どうしたらよいかについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動	面を基に、SNSをめぐるすれ違いについて具体的に想像し、自分自身がどのように行動するかについて話し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動	んの行動を基に、決まりを守ることにについて互いの考えを出し合うなど、考えを広げたり、深めたりする活動
内容の構成 ・ 排列、分量等	○ 言語活動について						
	・考えたことをメモし、話し合いに活用できる「つぶやき」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるような工夫	・道徳的価値について考えを深めることのできる「学びの道しるべ」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるような工夫	・実感を伴った学びに高める「まなびをプラス」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるような工夫	・協働的な学びの積み重ねをまとめられる「道徳ノート」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるような工夫	・考えたことをメモし、話し合いに活用できる「メモ欄」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるような工夫	・教材を読んで考えるための視点を提示した吹き出しの「発問」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるような工夫	・対話しやすい環境をつくる「ウェルビーイングカード」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるような工夫
	○ 問題解決的な学習について						
	・自ら問題を設定し、問題を解決する過程で、道徳性を養う教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断して実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるような工夫	・様々な考えを出し合い、答えが一つではない問いを考え続ける教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断して実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるような工夫	・生徒自らが問いを立て、考えが深められるような「チャレンジ問い」を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断して実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるような工夫	・道徳的な問題を見つけ、その解決に向けて主体的・対話的に考える教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断して実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるような工夫	・多様な観点から問題意識を喚起する教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断して実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるような工夫	・生徒が色々な立場で想像したり考えたりできるような問い「マイ・プラス」を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断して実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるような工夫	・教材の特性に合わせて発問や展開を工夫して配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断して実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるような工夫
	○ 体験的な学習について						
	・教材に即して役割演技を行うコラム（Plus）を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容	・直前の教材に関連した役割演技やリフレーミングなどを行う「やってみよう」を配置し、体験	・役割演技で実感を伴う議論ができる「チャレンジ」を配置し、体験的行為や活動を通じて学ん	・教材場面の役割演技などを行う「学びを深めよう」を配置し、体験的行為や活動を通じて学ん	・役割演技をして登場人物になりきって考える活動を配置し、体験的行為や活動を通じて学ん	・生徒が色々な立場で想像したり考えたりできるような問い「マイ・プラス」を配置し、体験的	・教材の特性に合わせて発問や展開を工夫して配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容か

	から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような工夫	的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような工夫	だ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような工夫	だ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような工夫	だ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような工夫	行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような工夫	ら道徳的価値の意義などについて考えを深めるような工夫
	○ 内容の分量						
	・第1学年 202ページ (約7%増) ・第2学年 210ページ (約7%増) ・第3学年 210ページ (約7%増)	・第1学年 209ページ (ほぼ同様) ・第2学年 201ページ (約5%増) ・第3学年 201ページ (約5%増)	・第1学年 191ページ (約4%増) ・第2学年 199ページ (約4%増) ・第3学年 199ページ (約4%増)	・第1学年 220ページ (約5%減) ・第2学年 228ページ (約1%減) ・第3学年 236ページ (約2%増)	・第1学年 190ページ (約4%増) ・第2学年 194ページ (約1%減) ・第3学年 198ページ (約2%増)	・第1学年 194ページ (約13%減) ・第2学年 194ページ (約7%減) ・第3学年 194ページ (約5%減)	・第1学年 163ページ (約15%減) ・第2学年 167ページ (約13%減) ・第3学年 171ページ (約11%減)
使用上の配慮等	○ 学習意欲を高める工夫						
	・写真や挿絵、ポスターなどのビジュアルから考える教材や、漫画やグラフから考える教材など、多様な教材（全学年）を配置	・絵本、写真、漫画など、生徒の興味・関心を高める多様な教材や、今日的な社会課題を扱った読み物教材（全学年）を配置	・漫画形式の教材、表やグラフ、写真から成る教材、ケーススタディで考える教材など、多様な題材（全学年）を配置	・身近な生活場面やスポーツ選手の教材、漫画形式やグラフを扱う教材など、多岐にわたる教材（全学年）を配置	・従来の読み物教材ではない、新感覚型の教材を充実させ、多様な観点から問題意識を喚起する教材（全学年）を配置	・学期ごと及び1年間の自分自身の授業の取組を振り返る、切り取り式ワークシート「学習の記録」（全学年）を配置	・学びの目標と目的意識をもって授業に向かうための「クラスみんなと『道徳授業』を創り出そう」（全学年）を配置
	○ 主体的に学習に取り組む工夫						
	・写真やイラストを見て自ら問題を見だし、その問題についてグループや学級で話し合う活動（全学年）を配置	・自分の考えを整理したり、他の人の考えと比べたりし、「自分なりのこたえ」を導き出す活動（全学年）を配置	・普段の生活の中から疑問に思った話題についてグループで対話する「てつがく」（全学年）を配置	・道徳的価値を自分との関わりで理解し、授業で学んだことを前向きに自分に生かすための発問例「自分に+1」（全学年）を配置	・マンガやイラストを見て自ら問題を見だし、その問題についてグループや学級で話し合う活動（全学年）を配置	・教材の学習後にさらに学びを広げることができるよう、Thinking（コラム）や巻末付録（全学年）を配置	・各教材の発問「深めよう」（全学年）において、自らのこれからの在り方を考える場面を配置
	○ 使用上の便宜						
	・ユニバーサルデザインフォントに配慮 ・二次元コードを掲載	・ユニバーサルデザインフォントに配慮 ・二次元コードを掲載	・ユニバーサルデザインフォントに配慮 ・二次元コードを掲載	・ユニバーサルデザインフォントに配慮 ・二次元コードを掲載	・ユニバーサルデザインフォントに配慮 ・二次元コードを掲載	・ユニバーサルデザインフォントに配慮 ・二次元コードを掲載	・ユニバーサルデザインフォントに配慮 ・二次元コードを掲載
指導上の配慮等	○ 地域素材						
	・1学年で植松氏の町工場、2学年で日高郡の自然災害伝承碑、3学年で霧多布	・1学年で植松氏の町工場、3学年でアイヌ民族などを掲載	・1学年で知床半島、2学年でアイヌ民族の歌、第3学年で北海道が舞台となる	・1学年でアイヌ文化、2学年でえりもの森づくりや、常呂町のカーリングなど	・1学年で常呂町ロコ・ソラーレの本橋選手、2学年で上川町出身の高梨選手、	・1学年で札幌市の除雪、2学年で釧路湿原、3学年で旭川市出身の町田選手など	・2学年で札幌農学校、3学年で幕別町出身の高木選手などを掲載

	高等学校の高校生の作文などを掲載		教材などを掲載	を掲載	第3学年で赤平市の町工場などを掲載	を掲載	
	<b>○ ICTの活用</b> ・教材を理解するための4コマ漫画や声優による教材文の朗読音声、教材に関連した映像やWebサイト、心情円や他教科の教科書紙面等が閲覧できる工夫 ・教材の理解を助ける教材解説や動画、学びを深めたり、広げたりできる外部リンクなどのデジタルコンテンツを活用できるよう工夫 ・二次元コードから教材に関連する動画など参考資料を閲覧することができる工夫 ・全ての教材に二次元コードが掲載され、動画や関連画像、朗読、ワークシート、心情メーターなど、豊富なコンテンツが設定されており、教科書と別冊ノートのそれぞれからアクセスできるよう工夫 ・「パソコンやタブレットを活用しよう」で注意点や活用法などが掲載されているほか、写真や動画等の補助教材、ワークシートなどを用いることができるよう工夫 ・インタビューや人物の紹介、補足となる写真、同じテーマの関連動画などを閲覧できる工夫 ・Web上に教材と関連した動画や画像、関連資料が閲覧できる工夫						
	<b>○ 小中連携</b> ・小学校道徳で学習した教材を掲載し、小学校での学習を思い出しながら考えることのできる工夫 ・巻頭詩において、小学校生活で関わった人たちについて想起させるなどの工夫 ・巻頭に中学校生活のスタートについて触れる内容を掲載するほか、各学年において小学校の学習を振り返る教材を掲載する工夫 ・巻頭詩「であう」において、中学校に進学したことへの意欲を喚起させる内容を取り上げる工夫 ・小学生のときの友人グループとのSNS上でのやりとりを考える教材を掲載する工夫 ・最初に出会う教材として「道徳はじまりの時間」を設定し、中学校生活のスタートを意識させる工夫 ・教科書の巻頭に、中学生における道徳の授業の心構えを掲載する工夫						
本市生徒の学習の状況等	<b>○ 道徳的価値を多面的・多角的に考える力の育成</b> ・「考えよう」「ぐっと深める」などの設問を掲載し、様々な角度から考えさせるなどの工夫 ・教材末の「学びの道しるべ」に発問を示す工夫 ・「道徳で大切にしたいこと」で「友だちと問合う」の観点を設定したり、巻末に付録として「まなびの道具箱」で思考ツールを掲載したりする工夫 ・全ての教材末の「3つのステップ」の「考えてみよう」において、自分の考えを表現したり、話し合ったりするきっかけとなる発問を示す工夫 ・特設ページ「クローズアップ」では、多様な意見や内容項目が異なる視点からの関連情報などを掲載する工夫 ・「いろいろな見方を考える」において発問が示されているほか、補助資料としてThinking（コラム）を掲載する工夫 ・ウェルビーイングカードを活用し、同じ物事についての見方や考え方を互いに示し合うなどの活動が充実する工夫						
	<b>○ 自己を見つめ、人間としての生き方について考えを深めるための工夫</b> ・各教材にある「つぶやき」欄に思ったことや考えたことを記入することができる工夫 ・教材末の「学びの道しるべ」や学期ごとの「道徳科の学びをふり返ろう」、学年末の「『よりよく生きる』って、どういうこ ・教材の終末に、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で考えさせる発問を示すほか、振り返るためのワークシートを掲 ・教材の終末に「自分に+1」を設け、授業で学んだことを前向きに自分に生かすための発問例を掲載するとともに、別冊の道 ・教材の終末に、「考えよう」を設け、教材を基に、自分の生き方に向き合うきっかけとなる発問を示す工夫 ・各教材末の「考えを深める」や「自分に問い直す」に発問を示す工夫 ・教材の終末に「考えよう」「深めよう」を設け、自分の立場から考えたり、自分自身に問いかけたりする発問を示す工夫						

		とだろう？」に 発問を示す工夫	載する工夫	徳ノートに自分 の考えや自分へ の振り返りを記 入する工夫			
	○ いじめの防止について						
	・3つの教材を「い じめのない世界 へ」というテーマ でユニット化し、 いじめ問題を直 接的に考えるこ とができる工夫	・複数教材とコラ ムからなるユニ ットを設定し、 多様な側面から 連続して学ぶこ とで考えを深め ていくことがで きる工夫	・いじめについて 扱う教材を 各学年で設定し ているほか、「 まなびをプラス 」の教材を配置 し、相互理解や 友情信頼の視点 から学びを深め る工夫	・各学年において、 多様な教材を「 いじめと向き合 う」というテー マでユニット化 し、いじめ問題 について考えを 深めることがで きる工夫	・「いじめ防止」 の教材と「多様 性」の教材を連 携させ、いのち の尊さや人権を 重んじ、いじめ のない社会づく りに取り組む意 欲を高めること ができる工夫	・「相互理解、寛 容」や「公正、公 平、社会正義」の 内容項目と関連 付けながら、複数 教材によるユニ ットを構成する などの工夫	・学校生活の中で 「いじめに」陥 りやすい場面を 積極的に取り上 げ、各学年にお いて、いじめ問 題と関連付けた 教材を2つ設定 する工夫
その他	○ 人権教育、多様性、SDGs、LGBTQに関する扱いについて						
	・SDGsやジェ ンダーの問題に ついて学習でき る付録や人権に ついて取り上げ る教材などが掲 載され、考えを 深められる工夫	・多様な人々や地 球環境との共生 について考え、 差別をなくし、 ジェンダーや性 的多様性、マイ ノリティなどに ついて理解が 深められる工夫	・人権について考 えるユニットの 設定や全学年で 人権と環境に関 わる内容として 「持続可能な社 会のために」の コラムが掲載さ れ、理解が深め られる工夫	・現代的・社会的課 題に対応したテー マ「自立と共生」 「環境と未来」な どのテーマに沿 って、ユニットや コラムを構成し 理解が深められ る工夫	・生命の尊さや人 権を重んじ、多 様性を受け入れ ながら他者と共 によりよく生き ることについて 考えることがで きるユニットを 設定し、理解が 深められる工夫	・巻末付録「持続 可能な社会に向 けて学びを振り 返ろう 広げよ う」において、 SDGsに関わ る教材を掲載さ する工夫	・全ての学年にお いて、多様性を 認識することを 促す教材が掲載 されており、L G B T Qについ て考えるきっか けとなるよう工 夫